



発行責任者
隠岐広域連合立
隠岐病院長
西郷町城北町 355

残暑お見舞い申し上
げます



されました。
また県議会議
長に対しても
陳情をされま
した。（写真）

『実現する会』の署名、

一万名を超える！

県知事、県議会、隠岐広域連合長・議会に陳情

「隠岐病院の新築を実現する会」が進めていた署名活動は、六月に一万人を突破し、一万百九名に達しました。実現する会ではこの署名を持って、島根県の澄田知事、県議会議長、隠岐広域連合長、隠岐広域連合議会に対して、隠岐病院の新築を早期に実現し隠岐医療を充実するように陳情をされました。

私たち病院職員は、地域の皆様の強い意思をしっかりと受け止め、日々の診療や業務を見直さねばと身の引き締まる思いです。

島後の住民有志の方々で結成された「隠岐病院の新築を実現する会」（以下、実現する会）は、「隠岐病院整備は私たち島民の手で！」と三月末にサンテラス店頭において、また六月には、ピア店頭で大々的に署名活動を展開されました。さらに地域におかれても先頭に立って署名拡大の運動を続けられ、一万百九名もの署名を集められました。人口一万八千人の島で短期間に一人を超え人たちが署名に参加されたこ

とは、きわめて重要な意味を持つものと感じていきます。

実現する会は、この一万百九名の署名をもって六月二十七日に隠岐広域連合長、並びに隠岐広域連合議会に対して陳情をおこない、翌日の二十八日には隠岐広域連合議会の議員代表の方々と共に松江市の県庁に出かけて、澄田信義県知事に直接お会いし隠岐病院の全面新築と隠岐医療の充実を求める陳情を

澄田知事をはじめとする県側からは、「十分に受け止める。検討させていただきたい」「医療体制の整備は大事。生命と安全のことであり、いろいろな角度から再検討してみる」、「地元の判断が重要であり、地元の判断を尊重する」など、一人余の署名を重く受け止めることや、隠岐病院整備について精査・再検討するとの発言が、あつたようです。

これを受けて、八月一日の県議会環境厚生委員会では、隠岐病院の整備問題について県当局から報告を受け、また八月二十日に同委員会のほとんどの議員の方々が隠岐病院の実態を視察するため来島されました。

隠岐広域連合議会において、既に六月議会において隠岐病院の全面的な建て直しを求めるとした決議を挙げています。が、実現する会の陳情については七月十六日の臨時議会で全員賛成にて採択されました。

このようなか、隠岐広域連合は、病院整備について検討する

組織を設置するとの考えを示しました。

このように従来の増改築案による整備方法から大きく方向転換されようとしているのは、一人を越す署名を集め陳情へとこの行動を起こされた実現する会の皆様の熱意と、署名に参加された皆様の強い意思表示があったからです。病院で働く私たちは、皆様に負けない様しっかりと頑張らなくては、と身の引き締まる思いです。そして安心し信頼される病院づくりを、住民の皆様と一体となって進めて行こうと強く決意しています。

（編集委員 M）



県議会への陳情のようす（中央は島根県議会議長）

第一回



小集団活動発表会が開催されました！

人材育成研究所の立川義博先生の指導をいただき、看護部を中心とした部署で昨年より、小集団活動に取り組み、七月十四日、西郷町ふれあいセンターにおいて約半年の活動の成果を発表しあいました。

「小集団活動」？なんじゃら？と思いの方もおられるかと思いますが、平たく言えば、職場改善活動です。どんな職場でも色々な問題を抱えていると思います。従来のカン、ケイケン、ドキョウで問題を回避したり解決してきた事を、簡単な問題解決技法を用い、解決していくのが小集団活動です。

当日は、神戸より立川義博先生を講師に招き（全国三十ヶ所以上の小集団活動を指導）、田中一隆副広域連合長を来賓に招いて、九つの部署がそれぞれのテーマで発表しました。講師の立川先生より「プレゼンテーションはすばらしい」とほめていた

だいたいのほど、パソコンやビデオなど使い、又、寸劇も取り入れた分かりやすくとても楽しい発表でした。

発表グループ	テーマ
看護助手	これだーれの？
透析室	ﾊﾞｯﾄﾞﾒｰｷﾝｸﾞについて
二階詰所	回診車、発車オーライ
レントゲン	連絡票の記入漏れ・記入ミスの改善
四階詰所	ある刑事（掲示）のリストラ事件
手術室	取り出しやすい器機械棚
外来	救急外来の整理整頓
総務課	どこ行くの？所在の明示
三階詰所	マウスケアの徹底に向けて

この中から、看護助手、手術室、外来の三グループが入賞しました。なかでも看護助手グループは、仕事をする上で身近な事柄の活動に取り組みました。では、入賞した「看護助手」の発表内容をご紹介します。



グループ名 マジック隊！
私達は、病棟は違いますが患者さまや看護師の少しでも手助けになればと毎日元気に階段を昇り降りしている看護助手チームです。よろしくお願ひします。

取り組みテーマ
これだーれの？誰の物かわかるようにしたい

当内科病棟は、患者さまの安静度や日常生活動作の低下等に伴い、よく患者さまに部屋移動をお願ひしてあります。その時、同じ持ち物があつたり、持ち物が誰の物かわからなくなつたりします。患者さまの持ち物すべてに名前の表示がしてあつたら、一目ですぐわかり、迷惑をかけずに部屋移動がスムーズに行えるのではないかと思ひ、この活動に取り組みました。・・・

ということでもマジック隊！は活動を始めた。病棟スタッフや患者さまにアンケートや聞き取り調査を行い、現状を把握する。誰の物かわからないという事を0%にするよう目標設定、そして原因究明、対策の検討を行う。はたまた、名前書きセットなる物まで作成し、ありとあらゆる物に名前書きをし始めた。



入賞したマジック隊！

結果として、目標の達成にはあと一歩というところでしたが、この取り組みをしたことで、いままで以上に気をつけようという意識が高まり、部屋移動もスムーズにできるようになり、チームワークも深まり、職場の活性にもつながったようです。また、患者さま・家族の方より「自分の物がわかりいいですね」と喜ばれています。

今年度小集団活動は、「自己改革」をテーマに、「コスト削減、連携、相互援助」をキーワードに病院全体で取り組む事が決定しています。次回発表会、みなさまにお見せできるくらい、より充実したものになればと思います。

職場紹介

外科外来編

皆様、こんにちは。外科外来の河田真紀、独身、歳です。今回は、外科外来について紹介したいと思います。

外科というと、皆様はどんなイメージをお持ちでしょうか？「手術をする所」「怖いところ」あるいは「痛いことをする所」などなど。多くの方々がこのように思われているのではないのでしょうか？実際に、このような面があることは事実なのですが、それは外科の一つの側面でしかありません。

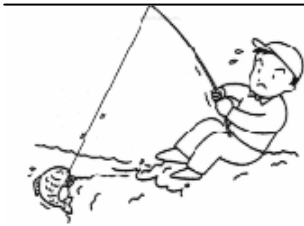
外科疾患は様々あります。食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓などの消化器疾患に対し、内科の医師と協力しつつ、外科治療を中心に診療しています。また、脾臓・肛門・乳腺・ヘルニアなどの一般外科、腹腔鏡を利用する内視鏡外科、甲状腺・副甲状腺・乳腺・副腎

などの内分泌外科、なども扱っています。さらに、外傷一般の診療も行っています。もちろん、これらの全てが当院で完結できる訳ではありませんので、本土の病院と連携をして診療を行っています。

現在、外科の常勤医師は筑後一徳副院長、三上学外科部長の二名体制で診療に当たっており、緊急時の手術などにも対応可能です。



さて、ここからは余談？になります。筑後先生は釣りが大変お好きなので、休日明けには日焼けをしています。



磯で見かけることがありますが、声をかけてみてください。必ず返事が返ってくるかは限りませんよ(笑)。

集中してますから。三上先生は釣りもするようです。最近では島内のイベントにアマチュアバンド(ドラマーです)として時々参加しているようです。

二人とも多趣味でうらやましい限りです。かく言う私も、何年前まではテニスをやっていました。他部署の仲間・先生方と病院チーム(確かチーム名もあつたはず)で大会にも何度か出場したこともあつたのですが、最近は何も、食べることもぐらいいしか思いつきません(泣)。なので、今ダイエットに奮闘中です。

こんな私たち三人が診察に当たっている外科外来です。皆さまどうぞよろしくお願ひします。



皮膚科の診療時間について

(9月10日からの診察時間)

午前 9:30 ~ 11:30 まで
 午後 12:30 ~ 14:30 まで
 受付 (8:00 ~ 11:00)

- ご注意 - 患者様が多くなりますと受付を止めさせていただくことがありますのでご了承ください。



皆さまからのお便り、投稿、ご意見などお待ちしております。また当院ではホームページでも情報発信をしておりますので是非ご覧ください

西郷町城北町三五五
 隠岐病院内「まめなかの」

e-mail
 webmaster@oki-hospital.com
 homepage-address
 http://oki-hospital.com

小児用

インフルエンザワクチンについて

接種希望の方の予約をお電話にて受付いたします。
(10月末まで)

当院小児科外来では下記日程にて「小児用インフルエンザワクチンの接種」を行います。



- 1 1月の予定
毎週火曜日 (5・12・19・26)
- 1 2月の予定
毎週火曜日 (3・10・17・24・31)
接種時間 14:00 ~ 15:00

接種料金 初回 ; 3,370円
2回目 ; 2,360円

通常、2回接種（間隔は最低1～4週間）いたしますので、なるべく11月中に1回目の摂取をお済ませください。10月～翌年1月までの間に他の予防接種を受けられる予定の方は予約時にお申しで願います。

予約の受付は・・・隠岐病院小児科（内線106番）まで

大人の方の予防接種については改めてご案内いたします。

献血のお願いです。

来る九月中旬から、隠岐島内各地で献血が実施されます。今回新たな試みとして、献血並行型ドナー登録会を企画しようとなりましたが、諸般の事情で残念ながら実施できませんでした。現在、隠岐においてドナー登録する場合、二次検査以降は、必ず松江まで行かなければいけないこととなります。患者様を救いたい気持ちはどこにいても同じはず。間に海があるということも、命を結ぶ糸をかけることもできないことなんだ。と実感しました。今回発案してくださったボランティア団体「しまね骨髓バンクを支援する会」のメンバーの方、移植コーディネーターの方はこれにくじけることなく「骨髓バンク」「命のボランティア」に触れる新たな方法を模索中です。十月二十日に西郷町で催される予定の「健康祭り（仮称）」には何か形にしたいのとのこと。是非ご参加ください。

献血は「命のボランティア」。皆さん、献血車が来島した折りには、是非とも足を運んでいただきたいとおもいます。

看護師 M

異動

異動（七月まで）

*有木 正明（事務局長）
隠岐広域連立本部へ

採用（八月まで）

*上野 優子（臨時看護師）

あともがき



鳥を吹き抜ける風も一時期の暑さはおさまり、少しだけ心地良さを感じるようになり、秋の気配を感じる頃になりました。

秋は食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋といろいろ言われますが、自分も気を付けていないと思わず「食欲の秋」にはしつてしまいがちです。なるべく「スポーツの秋」を過ごせるよう心掛けたいと思います。そして「読書の秋」に没頭する前に「まめなかの」をどうぞ...

S

